

3. 紹介「海外に学ぶ」: TOD(公共交通指向)型再開発で賑わいと産業再生を目指す 米国・デンバー・Denver, Colorado 2 (Japa 理事 小畑きいち:青山学院大学元客員教授)

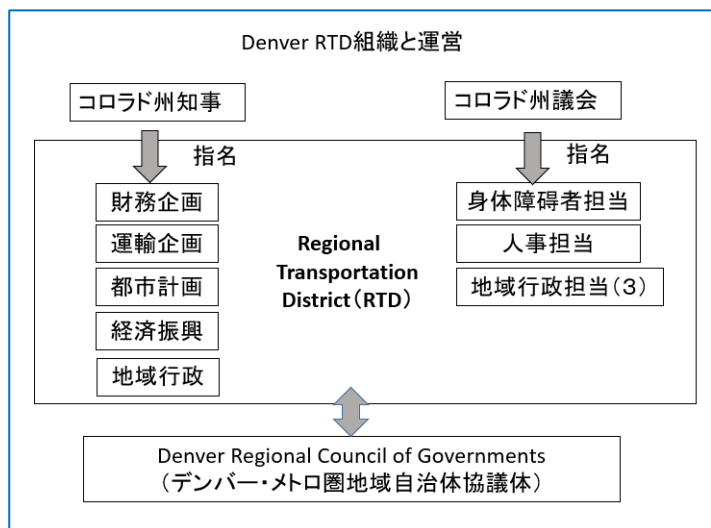
交通基盤整備のためにデンバー・メトロ(広域都市)圏の組織化へ

嘗て、デンバー市には民間路面電車の路線が存在していたが 1880 年後半から路線を縮減し、路面電車路線をバス路線に切り替え拡張させ、バス路線が事業主体となった。1920 年代ころより自動車に社会に急速に普及し始めて、住居の郊外転出とともに自動車所有の必要性が急増し 1940 年代には自動車所有者が 50%を超えた。このような状況がデンバー市にもおよび、バスの利用者が激減し経営危機が発生した。このような状況に対応して 1969 年にデンバー市の助成・支援により、半官半民の Denver Metro Transit に事業譲渡するも経営破たんが回避できなかった。

デンバー市は、過剰な自動車に依存しない魅力ある都市社会の形成と持続的な都市発展を考えた。そのためには、都市計画家ピーター・カルソープが提唱する TOD (Transit-Oriented Development=公共交通指向)型による再開発が最適と考え、事業計画を構想し、TOD 型再開発案を検討することとした。

快適で環境にやさしい交通整備によって生活環境の向上と公共交通の利用促進を進めるために、交通圏が一体化している地域全体での取り組みが必要とし、バス、LRT(軽快路面電車)、鉄道など公共交通都市基盤整備を目的としてデンバー市を中心にデンバー・メトロ圏周辺自治体で組織化し計画を進めることとした。

デンバー市は周辺郡地域と協働で交通アクセス整備のためのデンバー・メトロ圏を対象に協議を重ね、「Denver Regional Council of Governments」という広域自治体協議体の設置案が打ち出され、右図のような組織構造を形成した。



そして、人口増促進、雇用創成など地域振興策として「Metro Vision」と称する計画において「総合的地域開発」、「雇用創成」、「調和あるコミュニティ」、「公共交通の提供」、「都市環境の保全」などを策定した。過度に自動車に依存しない都市基盤整備を基本構想とした。地域移動手段の向上を考える地域公共交通協働構想を促進協議した。

その実現のための構想案が 1969 年にコロラド州議会において、デンバー市・周辺郡 6 自治体による公共交通整備のための統一組織案として採択され、運営体として Regional Transportation District (RTD)を発足させた。RTD は公共交通基盤整備案の核としてダウンタウンを中心に LRT を構想するが、それまではバス網整備による利便性向上を基本構想とした。

交通基盤整備の建設資金調達として、連邦政府からの Federal Interstate Highway Transfer Funds(Interstate 高速道路維持財源移譲準備基金)、州政府からの資金支援と自治体の資金供出を基本としたが、整備資金としてこれだけでは不十分であることから、Tax Increment Financing (TIF 税増収分による資金調達:売上税への上乘せ税)が提案され、1973 年資金調達法として新売上税が有権者により賛成多数で承認された。1975 年に組織と公共交通の認知を高めるために交通機関の愛称“The Ride”とロゴも決定した。さらに 1980 年には LRT 延伸計画における資金不足のためにさらなる売上税増税案を有権者に諮ったが否決された。

その一方、再開発事業として推進していた中心部のダウンタウン・16 番ストリートを歩行者優先の商業モールの再生・活性化整備事業が完成し街路利用者などから高い評価を獲得し、ダウンタウン街の魅力向上に大きく寄与した。この結果、米国における再開事業のモデルとして注目度が集まるようになった。



公共交通網の整備

交通基盤整備は、ダウンタウンを中心とした既存バス路線の整理充実、次いで LRT 路線の新設拡充、ダウンタウンとデンバー国際空港を結ぶ鉄道などの路線新設などを長期計画案として推進することとした。

LRT と鉄道を公共交通基盤の核として、それら補充する交通機関としてバス路線の改善整備、また市内など適所に駐車場、駐輪場など整備を推進し、“Ride & Park”サービスの徹底を推進することとした。その第一歩が、16 番ストリートをトランジット・モールとすべく、モール街路(1 マイル=約 1.6Km)に“MallRide”(無料シャトル・バス)の運用開始(1982)を実施した。このような努力の結果、ファミリーを含めた全世代層に向けて利便性の高いモビリティの提供により、モール街路へと人を引き付けに成功し、さらに活気をもたらした。



Free MallRide バス



ダウンタウンを走る LRT 電車

1969 年の RTD 発足から 25 年経て、ようやく LRT 路線(5.3 マイル=8.5km)が完成した。運行は 30 番ストリート/Downing から高速道路 InterState25 までとされ、デンバーの LRT 路線整備により、ダウンタウンにおける回遊利便性がさらに向上したことで、周辺街区の地価が上昇し始め、公共交通整備による TOD 型再開発がさらに促進することになる。(つづく)

- [参考] (1) <https://www.rtd-denver.com/>
 (2) “Transit Oriented Development Strategic Plan” □Denver city Council
 (3) <https://drcoq.org/>